

教員養成に関する情報の公表

1. 教員養成の目標および目標達成のための計画

目標

創設者・里見純吉は「知識・技能より、第一に”良き人間”になること」を建学の精神とし、「愛と真実」を第一義とする教育理念は、今も本学の教育の原点である。

本学の目的及び使命は、「広く一般教養並びに専門の知識を授けるとともに職業に必須な学術技能を教授研究し、人格を陶冶して良き社会人として教育の平和と人類の福祉に寄与し得る人間を育成すること」（学則第1章第1条）である。

それらを受け、食物栄養学科のアドミッションポリシーでは、栄養士、栄養教諭を目指すために、栄養士免許資格を目標に学習する意欲のある人、食と健康に関心のある人、食育に興味のある人、理系の基礎科目を理解しようとする意欲のある人を求めている。また、カリキュラムポリシーでは、栄養に関わる基礎から専門に至る知識・技術を習得し、栄養士としての実践的な能力の養成に重点を置いている。さらに、社会人として要求される教養・知識についての育成の成果にも教科目のカリキュラム構成により、段階的な履修方法を取り入れている。そして、ディプロマポリシーでは、栄養に関わる基礎から専門に至る知識・技術と実践的な能力を有し、人の健康を支える総合的な力を持った栄養士・社会人を育成することを目標としている。

食物栄養学科では、平成17年に栄養教諭2種の課程認定を受け、栄養教諭の教員養成につとめている。教職課程では、栄養教諭の職務である「食に関する指導」および「学校給食の管理」に関する専門的な知識と技能の習得とともに、教授伝達が出来る人材を養成することを目標としている。

目標達成のための計画

教育職員免許状の取得を希望する人は、卒業必修科目を取得し、栄養士必修科目を取得し、かつ教育職員免許法に定めるところにより、所定の単位を修得する必要がある。

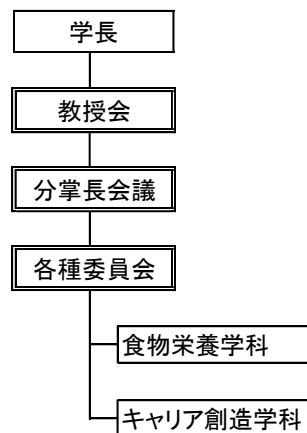
教職課程では、目標到達のために次のカリキュラムマップにそった計画をたてている。

		教職実践演習（栄養教諭）	
		栄養教育実習（学外）（集中）	
		栄養教育実習（学内）	
学校栄養教育 教育心理学 教育原理 教育の方法と技術 教育原理 コンピュータ演習Ⅱ スポーツ実習 英語Ⅱ 特別支援教育論 生徒指導・教育相談の理論と方法 道徳・総合的な学習の時間・特別活動の理論と方法	教職概論		
	教育課程論		
	コンピュータ演習Ⅰ		
	英語Ⅰ		
	フィットネス		
	法学（日本国憲法）		
前期		後期	前期
1年		2年	
		後期	

教職課程にかかわるカリキュラムマップ

2. 教員養成に係る組織及び教員の数、各教員が保有する学位及び業績、各教員が担当する授業科目

教員養成に係る組織



課程認定を受けている食物栄養学科の学科会議において、教職課程に関するカリキュラムや学生指導の方法などの検討を行っている。また、学長をはじめ、教授会、分掌長会議、各種委員会において教職課程に関する審議、決定を行っている。

教員養成に係る教員数

専任教員 3 名

非常勤教員 2 名

各教員の保有学位及び業績

教員の保有学位及び業績については、こちらの公表情報の修学上の情報等からご覧ください。
(<http://www.oig.ac.jp/js/about/teachers/>)

授業科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分と授業科目の開講年次・時期の一覧

年次	時期	栄養に係る教育に関する科目	教職関連科目	教育職員免許法施行規則第66条の6に関する科目
1	前期		教職概論 教育課程論	法学（日本国憲法） フィットネス 英語Ⅰ コンピュータ演習Ⅰ
	後期	学校栄養教育	教育原理 教育心理学 特別支援教育論 教育の方法と技術 道徳・総合的な学習の時間・特別活動の理論と方法 生徒指導・教育相談の理論と方法	スポーツ実習 英語Ⅱ コンピュータ演習Ⅱ
2	前期		栄養教育実習（学内）	
	集中		栄養教育実習（学外）	
	後期		教職実践演習	

3. 教員養成に係る授業科目、授業ごとの授業方法及び内容及び年間授業計画

授業科目、授業ごとの授業方法、内容及び年間授業計画については、こちらのシラバスからご覧ください。(https://unipa.osakayuhigaoka.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml?guestlogin=Kmh006)

栄養教諭

教育職員免許法施行規則第六十六條の六に定める科目	本学の開講科目	単位数	担当
日本国憲法	法学（日本国憲法）	2	則武立樹
体育	フィットネス	1	高橋千絵
	スポーツ実習	1	高橋千絵
外国語コミュニケーション	英語Ⅰ	1	木村理恵子
	英語Ⅱ	1	木村理恵子
情報機器の操作	コンピュータ演習Ⅰ	1	山口眞理
	コンピュータ演習Ⅱ	1	打田智幸

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	本学の開講科目	単位数	担当
教育の基礎的理解に関する科目	教育原理	2	山崎明宏
	教職概論	1	山崎明宏
	教育心理学	2	永島聡
	特別支援教育論	1	高岡忍
	教育課程論	1	山崎明宏
道徳・総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳・総合的な学習の時間・特別活動の理論と方法	1	山崎明宏
	教育の方法と技術	1	山崎明宏・山口眞理
	生徒指導・教育相談の理論と方法	2	永島聡
教育実践に関する科目	栄養教育実習（学内）	1	山崎明宏・安富ひろみ
	栄養教育実習（学外）	1	
	教職実践演習（栄養教諭）	2	山崎明宏・永島聡・森久栄

科目区分	本学の開講科目	単位数	担当
栄養に係る教育に関する科目	学校栄養教育	2	安富ひろみ

4. 卒業者の「栄養教諭2種」免許状の取得人数

卒業年度	2019	2020	2021	2022
人数	12	19	10	5

※2005年に課程認定を受けた

5. 卒業者の教員への就職状況

卒業年度	2019	2020	2021	2022
正規採用教員	1	-	-	-
臨時任用・非常勤講師	-	1	1	-

6. 教員養成の教育の質の向上への取り組み

授業の工夫と教員間の授業参観

教員は、シラバスにしたがって授業を進めるが、講義や演習においてゲストスピーカーの招聘、学外見学など、多様な形も取り入れて工夫している。また、学生は授業の成果を学外および地域の活動で発表している。学習後のレポートを含め、制作物や、取り組み状況等も評価対象とすることにより、質の高い教育を行っている。

教育の質の向上活動の一環として FD Week（授業参観週間）を設け、相互に教授法を学び、改善点を指摘しあう機会を設けている。

授業評価

教員は、その授業にとって最も適切な評価方法あるいは複数の評価方法を組み合わせて評価を行い、その成果の状況を担当科目ごとに把握している。

学生による授業評価は、非常勤教員も含め、13回の授業終了後には、学生による学習行動と授業に関する調査（授業評価アンケート）を実施し、学生が回収して厳封し、学生が教務学生課に届けている。これにより学生は、自由に記述ができる。教務学生課は結果を集計し、各担当教員は、その結果を見て改善点を模索し、記述する。その後、授業評価アンケートは1冊にまとめられ、学生が閲覧できるようにしている。このように教員は、学生の授業評価を定期的に受け、その結果を認識し、授業改善のために活用している。